

洛和会音羽病院 救命救急センター・京都 ER (編)
宮前伸啓 (責任編集)
荒 隆紀 (執筆)

京都 ER ポケットブック

船越 拓

東京ベイ・浦安市川医療センター救急外来部門

ERを受診する患者は多様である。また、同時に多くの患者を診療しなければならない。インターネット環境が整備された病院が珍しくない現在において、スマートフォンさえ持っていればある程度の調べ物もできる。そうした中で、わざわざポケットに忍ばせておく意味のある書籍とはどのようなものだろうか。

一つは迅速性である。慌ただしいERにおいて落ち着いて調べ物をする時間は確保しにくい。インターネット上の情報は質が保証されず、必要な情報にアクセスしにくい。有名な二次資料のサイトも、どちらかというと治療に重きが置かれており、かつ患者到着までの5分で読むには過剰である。もう一つは網羅性である。特定の診療科に偏らない患者に対応するために広い分野をカバーしなければならない。内科のみ、外傷のみ、マイナーのみではERの患者

をカバーするには足りないのである。

迅速性を優先すれば内容は希薄になりがちであるし、広い分野を徹底的に網羅しようとすれば容量が多くなる。そうすると常に持ち歩きながら調べ物をするという迅速性は失われる。その二つを両立するのはなかなか難しいのである。

その二点を良いバランスで実現させたのが本書である。

『京都 ER ポケットブック』は洛和会音羽病院で後進教育のために院内で受け継がれてきた内容をコンパクトに書籍化したものである。症候別にまとめられた項目では最初の見開きで最低限の知識を得られる工夫がなされており、患者を呼び入れる前、もしくは救急車が到着する前の3分で読み切れる。一方でカバーする領域は広く、救急外来で遭遇する一般的な症候別のアプローチに留まらず、問診技法、画像読影、心電図

や超音波、抗菌薬やグラム染色、コミュニケーション技法にわたる。

そうした充実した内容がコンパクトに持ち運べるサイズでまとまっており非常に見やすい。また、根拠となる文献も明示されており、時間が空いたときのさらなる自己学習の入り口にもなってくれる。

救急外来研修を初めて研修する医学生や初期研修にとって、優れた指導医が常に側にいてくれるような心強いパートナーになってくれるであろう。

屈指の人気研修病院の看板に偽りなく充実した内容である。

●A6/頁 416/2018 年

定価：本体 3,500 円＋税

[ISBN978-4-260-03454-8]

医学書院 刊